

看護学科

2年

科目名：基礎看護学実習Ⅱ				担当教員氏名：高田 亮子 他					
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	備考					
2	2年次 前期	専門科目	実習	必修					
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			臨床現場で実際の患者を受け持ち、看護技術論Ⅱで学んだ問題解決技術を使って、アセスメント、援助計画立案、実施、評価の一連の過程を体験し、既習知識を各自なものとする。ともに教員・指導者とともに思考過程を重視し、ディスカッションしながら、看護実践能力を高められるようにしている。						
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード					
受け持ち患者とのコミュニケーションを図り、「看護過程」の技術を用いてアセスメント、援助計画の立案、実施と評価の一連を実習し、患者個々のニーズに応じた「看護過程」展開の方法を初めて体験し学ぶ。この実習を通して自己の看護実践レベルを自己評価し、実習後に開講する各看護学援助論の講義に臨む前段階として、この実習での経験から、自己を看護師として「つくり・つくりかえ・つくる」過程を意識する。(臨地実習)				・コミュニケーション ・看護過程 ・基礎看護技術 ・生活行動援助技術					
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9. 10					
A 知識・理解力		・受け持ち患者のアセスメントに必要な情報について述べるができる ・受け持ち患者のアセスメントに必要な情報を得ることができる ・得ることのできた情報を元に受け持ち患者の人物像を述べるができる							
D 問題解決力		・看護過程を実践し、受け持ち患者の問題を明確にできる							
B 専門的技術		・受け持ち患者の個別性に応じた援助を実践し評価できる							
C 論理的思考力		・自分が行った看護過程の展開について説明できる							
H コミュニケーション力		・受け持ち患者とコミュニケーションを図ることができる							
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験：	%	その他：	%
特記事項： 以下により総合的に評価する。 ・出席状況・実習記録類・課題レポート・実習中の学習態度 * 提出物は期限を厳守すること。 * 原則として遅刻、欠席は認めない。									
アクティブラーニング要素： 課題解決学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 担当教員が毎日記録や学習状況を確認し指導を行い、内容および取り組み姿勢に対して評価する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容		学習に必要な時間(分)			
2年次 前期 2単位:90時間				・指定の事前学習内容について記録用紙に記録する ・生活行動援助技術の修得 ・看護過程の展開(事例)		【予習】 【復習】			
実習施設： <ul style="list-style-type: none"> ・ 済生会富山病院 ・ 厚生連高岡病院 ・ 富山協立病院 ・ 射水市民病院 ・ 金沢医科大学氷見市民病院 ・ 西能病院 ・ 真生会富山病院 ・ 富山西総合病院 * 詳細については実習要項に記載									
使用テキスト：				その他参考文献など：					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：看護を提供するためのプロセスを、一人の患者を受持、病気や治療、日常生活の障害をアセスメントし、講義で学んだ日常生活援助技術を状態に合わせて実践できることを目指します。既習学習を応用する力が求められるため、復習・予習を誠実に知識とする力が必要です。患者への責任意識をもち、真摯に向き合った実習としてください。 また、本実習の目的を理解し、目標達成に向けて必要な行動目標を明確にし、計画性を持って取り組むこと、指導者や教員への連絡・相談・報告を密に行うこと、自己の健康管理に留意し実習に臨んで下さい。									